

平成 17 年 4 月 13 日

各 位

上場会社名 株式会社今仙電機製作所
本社所在地 愛知県犬山市字柿畑 1 番地
代 表 者 代表取締役社長 若山 恭二
コード番号 7 2 6 6
東証・名証 市場第一部
問い合わせ先 専務取締役 秋山和夫
T E L 0 5 6 8 - 6 7 - 1 2 1 1

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社では、当社製品であるフラッシャーユニット（自動車用方向指示器制御装置）の不良に起因して得意先自動車メーカーが行った市場回収処置（リコール）費用の一部について、以下のとおり負担することを決定いたしました。これに伴い、平成 17 年 3 月期において特別損失が発生する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

また、平成 17 年 2 月 8 日に公表した平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の連結業績予想及び個別業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 発生した不良の内容

対象製品：フラッシャーユニット

搭載車種：マツダ(株) ボンゴ、タイタン ほか

発生事象：当該ユニット内部のリレー端子半田部の半田量が不足しているものがあることにより、長時間のハザードランプ点灯で当該端子が高温になるという使用方法を繰り返した場合、当該端子が熱膨張と収縮の繰り返しによって半田に亀裂が発生し、接触不良となって、方向指示器とハザードランプが点灯なくなるケースが発生。

発生要因：使用環境の想定が不十分であったことに起因。（現在は対策済であります。）

2. 市場回収処置（リコール）の内容

開始時期：平成 16 年 4 月

対象台数：約 15 万台（平成 17 年 2 月末現在 約 70%実施済）

3. 当社の費用負担額と費用負担の決定に至った経緯

マツダ(株)において市場回収処置（リコール）の実施が決定された以降、当社は同社とその費用負担の割合について協議を進めてまいりましたが、このたび当社としてはベンダー（専門メーカー）としての技術的責任があるものと判断し、当社責任に起因するものと判断される金額として、451 百万円を負担する見込みとなりました。

なお、当該負担金につきましては、平成 17 年 3 月期において特別損失として計上する見込みであります。

4.平成17年3月期業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

○連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	57,500	1,450	520
今回修正 (B)	—	1,250	80
増減額 (B-A)	—	△200	△440
増減率 (%)	—	△13.8	△84.6
(ご参考) 前期実績 (平成16年3月期)	53,100	1,405	335

<連結業績予想の修正理由>

経常利益につきまして、米国子会社における業績見通しの悪化により減益となる見込みであり、当期純利益につきましても、経常利益の減少および前述の特別損失の発生に伴って減益となる見込みであります。

○個別業績予想

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	46,600	1,230	460
今回修正 (B)	—	—	220
増減額 (B-A)	—	—	△240
増減率 (%)	—	—	△52.2
(ご参考) 前期実績 (平成16年3月期)	41,328	1,636	863

<個別業績予想の修正理由>

当期純利益につきまして、前述の特別損失の発生に伴って減益となる見込みであります。

以 上